

災害に備えて

水道かわら版

給水場所から自宅までの
運搬手段の確保を



水1ℓは1kg。給水場所から自宅まで、10ℓや20ℓの水を運ぶことは、かなりの負担になります。リュックやキャリーなどを利用して、できるだけ楽に運べるように、運搬手段も確保しておきましょう。

1人1日3リットルを目安に、**飲用水の備蓄を**

各家庭においては、1人1日3ℓを目安に飲用水を備蓄していただき、災害に備えてください。

◎発行
大阪府 水道部
〒540-0012
大阪市中央区
谷町2丁目3番4号

◎電話(代表)
06-6941-0351
(内線3244)

◎ファックス
06-6942-7040

3~4週目 (15~28日)	2週目 (8~14日)	1週目後半 (4~7日)	初めの3日間	期間
最寄りの交差点など ~前面道路など (100m~10m程度)	近くの広場など (250m程度)	避難所 給水拠点	避難所	給水場所
100~250 リットル 震災前と ほぼ同じ水準	20~100 リットル 3日に1回の 風呂・洗濯	3~20 リットル 簡単な炊事 1日1回のトイレ用水	3リットル 生きるための 飲料水	1日1人当たり必要な水量
				



大阪府水道部では、阪神・淡路大震災の教訓を生かし、府内市町村と協力して、災害発生時から震災前とほぼ同じ水準の水を給水できるようになるまで、およそ4週間を目標にして、震災対策事業を進めています。

 **大阪府水道部** <http://www.pref.osaka.jp/suido/>

この小冊子は、企画から印刷まで全てを外注して、作成しております。
(5万部作成、作成費用697,620円)

R100

PRINTED WITH
SOY INK

この印刷物は、再生紙(古紙100%)、大豆インキを使用しています。